

キー・トピック

- 東方経済フォーラム 2018にインド公式使節団が参加
- 9月11日～16日、ウラジオストクで「極東通り」展が開催
- 新開発装置によりロシア極東で総額3.8兆ルーブル相当の投資プロジェクト1375件が実施



東方経済フォーラム関連ニュース

2018年7月30日 「コムソモリスカヤ・ブラウダ」

中露関係が東方経済フォーラム2018で新たな発展のベクトルを

ロシアの大統領補佐官アントン・コビャコフ氏と中国の李輝駐露大使の間で、多方面に渡る国際経済フォーラム内での中露協調関係に焦点を当てた会談がモスクワで開かれた。とくに関心が寄せられたのが、2018年の東方経済フォーラムを訪れる中国代表使節団訪問の準備に関する問題である。

会談の過程で、フォーラムの枠内における様々なイベントが検討され、その中には中露協調関係の成果に焦点を当てた写真展示会、同様に東方経済フォーラム2018でスポーツプログラムの一つである、青島（チンタオ）～ウラジオストクをルートとする「極東カップ」ヨットレースなどがあった。

<https://www.kp.ru/daily/26861.5/3904113>

2018年7月30日 「RIAノーボスチ」

9月11日～16日、ウラジオストクで「極東通り」展が開催

展示会にはロシア極東連邦管区の9つの地域や連邦機関、スペシャルゲストとしてケメロヴォ州も参加する。展示会では極東の経済的潜在力、伝統文化、ツーリズム発展の可能性などが披露される。9月11日から13日にかけて展示会は東方経済フォーラム参加者とゲストに向けて開かれる。9月14日から16日にかけて「極東通り」展は一般の全ての希望者に開放されることになっている。

<https://ria.ru/economy/20180730/1525565950.html>

2018年7月26日 「インテルファクス」

テクノパーク「ルースキー」入居企業の事業成果が東方経済フォーラム2018で発表

テクノパークの開会式は東方経済フォーラムで2017年に行われた。去年の9月から入居企業数は6つの連邦管区からの65社となった。すべての入居企業は極東連邦大学の講師や大学院生が積極的に参加するイノベーションプロジェクトの運営を行っている。

<http://www.interfax.ru/events/news/622610>

2018年7月18日 「タス通信」

インド公式使節団が東方経済フォーラム2018に参加

公式使節団を率いるのはインドのスレシュ・プラブ商工相である。使節団のメンバーはインドのビジネスコミュニティの代表者から成り、その中には「KGK Group」、「The Tata Power Company Limited」、「Sun Group」、「Jungle Travels India」、「Assam Bengal Navigation Company」、「Suzlon Ltd」などの指導者も含まれている。

インド使節団の代表者らはビジネスプログラムに参加することになっており、その中でも、ビジネス対話の「ロシア・インド」では両国の政府機関とビジネスコミュニティの代表者らがロシア極東における共同プロジェクト実現について議論することが予定されている。

<http://tass.ru/novosti-partnerov/5383523>

2018年7月13日 「Lenta」

フランスの公式使節団が第4回東方経済フォーラムに参加

フランス大使館と仏露商工会議所の共同代表団を率いるのはフランスのシルヴィー・ベルマン駐露大使である。

使節団のメンバーにはさらに「ロスバンク」、「インシステムス」、「Engie」、「Servier Russia」、「エレクトロシート・サマラ」、工業会社グループ「ARMO」、「Poma」、「VINCI Concessions」、「AECOM」などの露仏ビジネスの指導者層20名が加わる予定となっている。

<https://lenta.ru/pressrelease/2018/07/12/francevef>

2018年7月6日 「フェデラルプレス」

東方経済フォーラム参加者向けに客室7000部屋が用意される

東方経済フォーラムの主催者側は、フォーラム参加者が客室予約にかかる手間を減らし快適なものとするため、極東連邦大学キャンパスとウラジオストクの宿泊施設22軒と客室予約に関する契約を取り結んだ。ウラジオストクのホテル1800室、さらに極東連邦大学キャンパス敷地内に4400室が確保された。

今年のフォーラム参加者は、初めて高級クラスのクルーズ船「Costa neoRomantica」に搭乗することになる。クルーズ船には様々な種類の700の客室が利用でき、船のビジネス、レクリエーション用設備はフォーラムの様々な文化プログラムイベントのために使用される予定だ。

<http://fedpress.ru/news/25/society/2085434>

ロシア極東地域の国家政策

2018年7月20日 「イズベスチャ」

ロシア極東の生活の質向上について、専門家らが議論を交わす

モスクワで7月20日に第4回東方経済フォーラム準備の過程で「ロシア極東における人的資本の育成：問題と解決策」をテーマとした文化円卓会議が開かれた。イベントにはアレクサンドル・コズロフ極東開発大臣と地方自治体代表者、自らのプロジェクトを実施している投資家や特別人材育成分野における専門家らが参加した。

今後3年間でロシア極東の社会発展に向けて558億ルーブルが配分されることになっている。資金は幼稚園、学校、病院、スポーツ施設、道路などのインフラ建設や環境改善、設備購入に当てられる予定だ。コズロフ極東開発大臣が強調したように、これらの措置は生活の質の向上とロシア極東企業の優秀な人材確保を目的としたものである。

<https://iz.ru/769194/2018-07-20/eksperty-obsudili-voprosy-uluchsheniia-kachestva-zhizni-na-dalnem-vostoke>

2018年7月4日 「RIAノーボスチ」

ロシアのウラジーミル・プーチン大統領がウラジオストク自由港法拡大の指令書に署名

新たな指令書はウラジオストク自由港法をハバロフスク地方のソヴィエツカヤ・ガヴァニ区に拡大するものである。ウラジオストク自由港法は現在ロシア極東の22の行政地区で施行されている。

専門家の意見によると、これによりソヴィエツカヤ・ガヴァニ市で総額545億ルーブルに相当する投資プロジェクト15件の実施が可能となる。8年間の税収と予算の総額は約43億ルーブルになると予想されている。新たな企業の開設により、1800以上の新規雇用が創出されることになる。

<https://ria.ru/economy/20180704/1523893192.html>

ロシア極東地域の経済状況

2018年7月17日 「タス通信」

ロシアのユーリ・トルトネフ副首相、「新開発装置によりロシア極東で総額3.8兆ルーブル相当の投資プロジェクト1375件が実施される」と

トルトネフ副首相・極東連邦管区大統領全権代表は、以上の旨について、今年の7月17日に開催されたロシア極東およびバイカル地域社会経済開発政府委員会の極東地域・バイカル地方投資プロジェクト実施小委員会会議で述べた。

これらのプロジェクトの実施により、2025年までに12万7000人の新規雇用が創出される。ユーリ・トルトネフ副首相によると、現在、すでに129の新規企業が総額1400億ルーブルの投資を依頼されているという。

<http://tass.ru/ekonomika/5380465>

極東発展を目指す新しい装置——成功の実例

2018年7月13日 「ヴェスチャー」

先行発展領域「ハバロフスク」に大型流通複合が建設

工業パーク「アヴァンギャルト」が面積15ヘクタールの複合施設の建設作業を行っている。第一段階では、標準的なAクラス倉庫2棟、温度調節機能付き倉庫を1棟建設する予定である。建設作業の完了は2019年の二半期に予定されている。保管施設の輸送効率を最大限に引き上げるのは、工業パークの戦略的位置関係、新しい道路、コンテナターミナル、そして鉄道網などである。

<https://www.vestifinance.ru/articles/103907>

参考

「ロス कांग्रेस」基金は大規模な会議や展示会の開催・運営会社である

ロス कांग्रेस基金の創立は2007年に遡り、様々な大会や展示会の組織・開催、企業を対象にしたコンサルティングや情報サポート、ロシア経済及び世界経済の問題の包括的な情報収集・調査・分析のほか、ロシアのポテンシャルを引き出しロシアのイメージを向上させることを目指す。同基金は、PPP（公民連携）を含むビジネスプロジェクトへの投資やそれらの実施を促進し、運営する。

ロス कांग्रेस基金は、ウルグアイのモンテビデオ市やロシアのウラジオストク市など、様々な国々でイベントを開催している。イベントには世界のビジネスリーダー、知識人、主要マスメディア、政府機関の首脳を招き、新しい構想やプロジェクトについての議論を行うための最適条件を確保し、チャリティプロジェクトや社会的事業の促進にも寄与している。

www.roscongress.org